

国内スポーツ関係者等からお寄せいただいた ウクライナ支援義援金(1,434万8,459円)を 国連 UNCHR 協会へ寄付しました

公益財団法人日本パラスポーツ協会(JPSA)は、公益財団法人日本スポーツ協会(JSPO)、公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)と、協力し募ったウクライナ義援金14,348,459円を、特定非営利活動法人国連 UNHCR 協会(日本における国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)の公式支援窓口)に寄付しました。

「ウクライナに、平和な日々が訪れ、一刻も早く心からスポーツを楽しめる環境が戻るように、今できることを少しでも行いたい。」

この思いから、スポーツ統括3団体(JSPO、JOC、JPSA)は、4月22日からスポーツに携わる関係者の方々に対し広く義援金を募り、競技団体、地域のスポーツ団体、アスリート、スポーツ指導者、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブなど、日本中の多くの方々から貴重なご寄付をお寄せいただくことができました。

お一人おひとりの思いがこもったご寄付に、心から深くお礼申し上げます。

■寄付総額:14,348,459円(寄付件数376件)

※1回目(6月9日):4,000,000円 2回目(8月18日):10,348,459円

■寄付先:特定非営利活動法人国連 UNHCR 協会

■実施団体:

日本スポーツ協会(JSPO)

日本オリンピック委員会(JOC)

日本パラスポーツ協会(JPSA)

■義援金募集時期:令和4(2022)年4月22日~7月29日